

平成29年度第2回東京都介護給付適正化推進研修会 (H30/2/14 開催) アンケート結果

1 研修会概要

日時・場所：平成30年2月14日（火曜日） 東京都社会福祉保健医療研修センター 401教室

- 内容：① 7期計画における介護給付適正化、東京都における介護給付費の状況（東京都）
介護保険業務技術的助言の報告、各区市町村の給付適正化に関する実施目標（東京都）
- ② 住宅改修、福祉用具の点検に関する事例発表（台東区、東村山市）
- ③ 区市町村によるグループディスカッション
- テーマ1：給付適正化を進めるにあたっての専門職等の関わり
テーマ2：各区市町村の給付適正化の実施目標、今後の進め方

2 参加者数及びアンケート回収状況

参加者数：44区市町村76名（20区20市4町）

アンケート提出：74件（回収率97.4%）

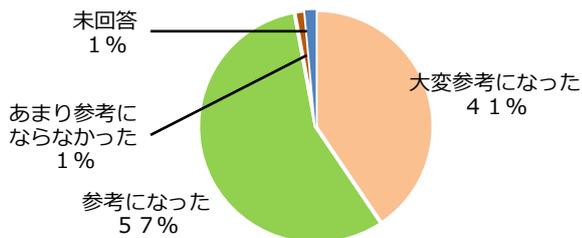
3 アンケート結果

(1) 研修の開催時期等について

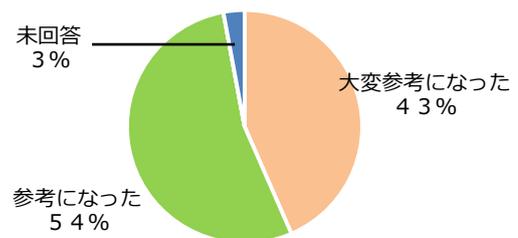
	適切	不適切	特になし	未回答
開催時間 (n=74)	56	3	10	5
開催場所 (n=74)	53	8	8	5

(2) 研修内容について

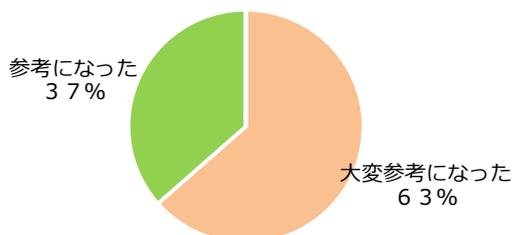
都説明①（第7期における給付適正化、都における給付費の状況）



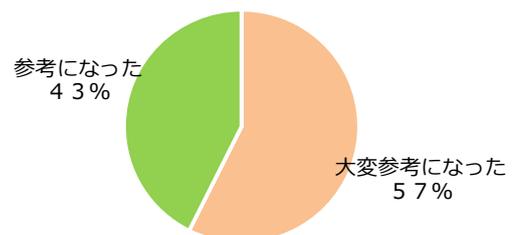
都説明②（技術的助言の報告、各区市町村の実施目標）



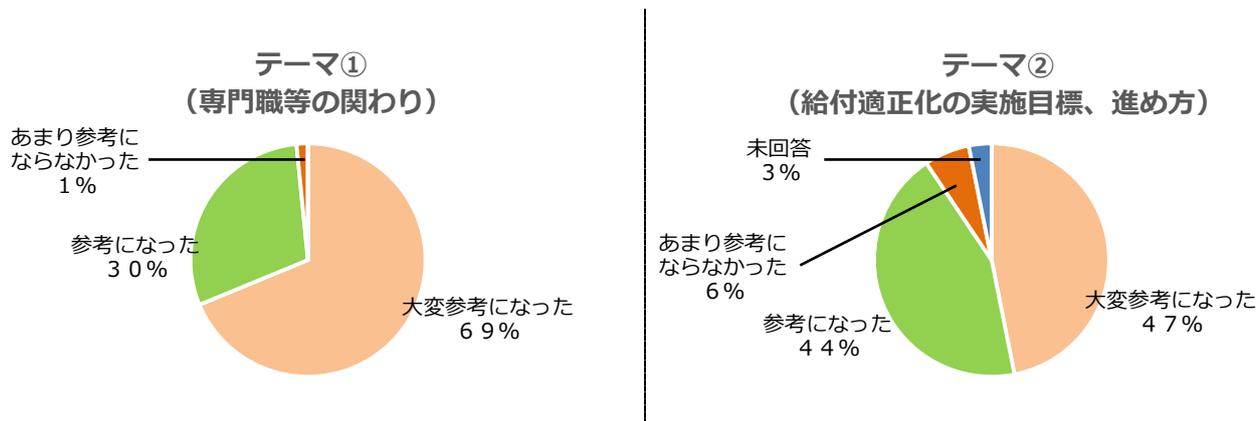
台東区事例発表 (住宅改修、福祉用具の点検)



東村山市事例発表 (住宅改修、福祉用具の点検)



(3) グループディスカッションについて



(その他、グループディスカッションに関する意見)

- ・ 規模や地域性が同程度の保険者同士がグループとなるよう振り分けてもらいたい。
- ・ グループごとに議論するテーマを分け、そのテーマに合った担当者を振り分けてもらいたい。その上で、実務を踏まえた議論ができるとうい。

(4) 研修会についての意見、今後とり上げてほしい内容

- 適正化事業ごとに、より具体的な実務レベルでの事例発表・情報提供を求める意見が多数。
 - <ケアプラン点検>
 - ・ 実施体制も含めた事例発表があるとよい。
 - <住宅改修、福祉用具の点検>
 - ・ 支給決定の判断が困難な事例を紹介してもらいたい。
 - ・ 軽度者への福祉用具貸与について、保険者としての確認をどのように行っているのか。
 - ・ 利用者宅の訪問調査について、どのような実施基準を設けているかを知りたい。
 - <縦覧点検・医療情報との突合、給付実績の活用>
 - ・ 国保連のシステムの概要や使用方法、活用事例に関する研修（事例発表もあるとよい）。
- その他の意見
 - ・ 住宅改修（申請にかかる様式を国が提示）や福祉用具（平均貸与価格の公表、上限貸与価格の設定）にかかる制度改正後の影響を示してもらいたい。
 - ・ 適正化事業に関する取組の保険者間比較を行ってもらいたい。

(5) 介護給付適正化の推進に関する意見（都、国保連、財団に求める支援など）

- ・ 「見える化」システムの活用事例を事例集としてホームページ等に掲載してほしい。
- ・ 他県の事例でもいいので、小規模～大規模まで様々な事例を紹介してほしい。
- ・ 制度改正・報酬改定が適正化事業に関わる部分（ケアプラン点検と訪問介護における生活援助の一定回数超えなど）について、その対応など研修会で説明してもらいたい。
- ・ リハ専門職や建築職などを確保することは難しく、それを指標として求められるのは厳しい。専門職を上手く発掘できるような仕組みが必要。
- ・ 縦覧点検・医療突合などは、国保連と共同で研修会を開催してもらいたい（なるべく終日）。短時間の研修だと出張が認められないこともある（※島しょ地域の保険者の場合）。
- ・ 縦覧点検等の国保連処理分について、他県事業所分も処理できるよう検討してもらいたい。
- ・ 国保連での第三者行為にかかる委託について、現行よりも一方進んだ委託内容としてほしい。